

令和 7 年第 10 回狭山市定例教育委員会会議議事録

開 催 日 時 令和 7 年 10 月 22 日（水）
午後 1 時 30 分から午後 2 時 13 分まで

開 催 場 所 市役所 5 階 教育委員会室

出 席 者	教 育 長	滝 嶋 正 司
	教育長職務代理者	古 谷 広 明
	委 員	宮 崎 英 子
	委 員	安河内 由 香
	委 員	青 田 和 義

欠 席 者 な し

委員及び傍聴人を除くほか、議場に参加した者の氏名

生涯学習部長	五十嵐 和 也	次長兼教育総務課長	増 島 康 浩
社会教育課長	石 井 巳代子	スポーツ振興課長	河 井 一 敏
学校教育部長	宇佐見 昌 義	次長兼教育指導課長	利根川 浩 子
学 務 課 長	岩 田 剛 平	書 記	大 熊 正 則

会議の公開・非公開 議案第 60 号及び議案第 61 号の 2 議案については、個人に関する情報が含まれ、また、公にすることにより、意思決定の中立性が損なわれるおそれがあることから非公開とした。

傍 聴 者 数 0 名

報告事項

- ・ 令和 7 年度狭山市民文化祭について

報告者（社会教育課長）

（要旨）

10 月から 11 月末にかけて、各公民館、入曽地域交流センター、富士見集会所、中央図書館、市民会館の 14 会場において、公民館などの利用団体が発表、展示や模擬店などを行う旨の報告がなされた。

- ・ 令和 8 年狭山市二十歳の集いについて

報告者（社会教育課長）

（要旨）

令和 8 年 1 月 11 日（日）、市民会館大ホールを会場に 1 部制で実施し、式典は午前 10 時 30 分から開催する。10 時 5 分からは、オープニングイベントとし

て、狭山市観光大使を務めるドリームワンダーランドによるアトラクションを披露する予定である。式典の案内状については、令和7年11月1日現在狭山市在住の該当者に対し、11月中旬頃に発送する予定である。なお、今回から運用を変更し、式典対象者の家族を会場である大ホール内に入場できるようにし、二十歳の主張発表者の家族は2人まで入場を優先的に認め、それ以外に式典対象者の家族約100人の入場を認める予定である。事前申込制で申込みが100人を超えた場合は抽選により決定する。また、これまでハガキサイズの入場券を送っていたが、今回から緑色のチケットを送り、それを入口で提示してもらう。その際、チケットは提示するだけで記念に持ち帰ってもらい、代わりにおりぴいが描かれたポケットティッシュを配布し、その配布数を入場者数とする予定である旨の報告がなされた。

・ さやまっ子教育の日について

報告者（教育指導課長）

（要旨）

例年、市内小中学校では、11月の第2土曜授業日に合わせてさやまっ子教育の日を実施し、保護者や地域の方に学校の教育活動を公開し、児童生徒の活動の様子を参観してもらうほか、学校への理解を図るため、各学校の特色を生かした取組を実施し、幼稚園も含め全ての小中学校で公開する予定である。公開する内容は、子どもまつり、校内音楽会、一斉道徳授業、PTAバザーなど、例年に倣った取組のほか、周年行事等と絡めた講演会や子供安全見守り講座、体験講座など各学校で特色のある取組を予定している。令和5年度から、さやまっ子教育の日の実施後の成果や課題等について振り返りを行い、今後に生かすように学校に働きかけることとなったが、今年度も既に振り返りを行うよう依頼しており、各学校の取組の状況把握に努めていく。また、情報提供として、昨年度の各学校の取組の成果と課題等について、一覧にしたものを市内全小中学校に参考送付しており、各学校で特色のある教育活動が展開されることを期待している旨の報告がなされた。

・ 各種審議会等の会議結果概要について

報告者（社会教育課長）

（要旨）

令和7年度第2回狭山市社会教育委員会議の開催結果について、その概要の報告がなされた。

委員からの質疑等では、第4次狭山市教育振興基本計画の素案に対する委員から出された主な意見は、また、2番目の協議事項にある「有志チーム」の構成メンバーの職種・年齢はとの質疑に、会議の中では、計画（素案）の中で使われている言葉について、例えば、「地域クラブ」や「生涯学習ボランティア」という言葉の注釈・説明はあるのかとの質問をいただき、分かりにくい用語については注釈を入れる旨を説明した。また、生涯学習の部分で評価する数字があるが、参加者だけではなく、参加者と来場者両方に聞く方がよいのではとの

意見をいただいたが、第 4 次の計画では変更した旨説明した。また、「有志チーム」は、社会教育委員 20 名のうち、男性 2 名、女性 5 名の計 7 名で構成され、地域教育ネットワークと市民の会の方、柏原・水富・狭山台地区から推薦のあった方、新狭山小学校の PTA の方である旨の答弁がなされた。「有志チーム」というのは、社会教育委員の中の有志ということかとの質疑に、そのような形で協議をしてもらっている旨の答弁がなされた。

- ・狭山市教育委員会後援名義の使用行事について

報告者（社会教育課長）
（スポーツ振興課長）

（要旨）

社会教育課関係 3 件、スポーツ振興課関係 2 件の後援名義使用承認の申し出があり、審査の結果、使用を承認した旨の報告がなされた。

議 案

議案第 59 号 令和 8 年度当初市立幼稚園教諭人事異動の方針について

令和 8 年度の市立幼稚園教諭について、人事異動の方針を定めるため提案がなされたものである。

委員からの質疑等では、来年度 1 園になることが既に決まっている中で、基本方針の内容が、今までとほぼ変わっていない理由はとの質疑に、基本方針そのものについては、確かにあまり変わらないが、実質的には、「令和 9 年度の入間川幼稚園への統合を考慮するものとする。」という部分で異動にならざるを得ない状況にあると見ている旨の答弁がなされた。

説明では、3 歳児と 4 歳児の話があり、3 年保育を準備中ということであったが、来年度からではなく、まだ先の話かとの質疑に、来年度、令和 8 年 4 月から 3 歳児保育を始め、入間川幼稚園は 3 歳児・4 歳児・5 歳児の 3 学年の編成になる旨の答弁がなされた。

議案第 59 号については、原案可決した。

議案第 60 号 狭山市立博物館協議会委員の任命について

狭山市立博物館協議会委員の任期が、令和 7 年 10 月 31 日をもって満了となることに伴い、新たに委員を任命することについて、教育委員会の議決を得るため、提案がなされたものである。

委員からの質疑等では、新任の西口由子氏と森井鐵太郎氏の選出理由はとの質疑に、西口氏は、学芸員の資格を持ち県の博物館等で勤務されていた方であり、博物

館の常設展について、開館当時とあまり代り映えがしない状態になっているので、少し手を加えたいと考えており、その相談にもものっていただきたく候補者として選出した。また、森井氏は、狭山市在住の日本刀の研師であり、博物館では、資料として日本刀を 14 刀ほど所蔵しており、それら日本刀など博物館の所蔵品について学芸員の知見を広めるため、これまでこのような方はいなかったので、今回、候補者として挙げた旨の答弁がなされた。

議案第 60 号については、原案可決した。

議案第 61 号 狭山市立山王小学校学校運営協議会委員の任命について

狭山市立山王小学校学校運営協議会委員 3 名を新たに任命することについて、教育委員会の議決を得るため、提案がなされたものである。

委員からの質疑等では、新たに任命ということだが、これで山王小学校の運営協議会委員は何名になるのかとの質疑に、山王小学校学校運営協議会は今年度設置し、委員は合計 8 名になる旨の答弁がなされた。

議案第 61 号については、原案可決した。

以 上